

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（平成 30 年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期研修会等日常の取組や地域派遣型支援員体制により地域課題やニーズの把握に努め、地域の実情に応じた支援の取り組みは評価できる。 ・ つながりの拡充を目的とした新たなイベントの開催について、状況に応じた支援等を柔軟に行えていることは評価できる。 ・ この間の支援実施により、会計及び補助金関係事務について安定的に遂行されているが、より高い透明性が求められている現状において引き続きの支援を実施してもらいたい。 ・ 広報について、スキルのある支援員を効果的に活用しており内容の充実性も高いが、より地域活動協議会事案における広報の工夫等が必要である。 |

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災をツールとしたまちづくりの支援は、地域ニーズや意識が高く、具体実践的な支援は有効であり評価できる。 ・ 継続した研修会の開催は、地域間の課題共有や各地域のニーズを集約する場にも活用され、支援策の構築においても有効であり評価できる。今後、まちづくりセンターの中長期的な展望による地域のさらなる体制構築をはかってもらいたい。 ・ アドバイザー3 名を含む全体の体制配置は適切である。 |

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・更新した地域カルテの提供や各地域の課題やニーズに応じた効果的な支援により、新たな活動展開に繋がったことは評価できる。 ・勉強会の企画内容は、まちづくりセンターが持つ地域課題の状況把握や分析を基本に、現状の取り組みの向上にむけた内容であり、さらに、様々な課題に対する地域間の認識の共有化をはかれる設定であり評価できる。今後、具体実践的な開催を実施してもらいたい。 ・まちづくりセンターによる広報については、地域の広報紙を検証した内容となっており、さらに、地域イベントや地域団体事業にて配付するなどの活用も効果的に行われおり評価できる。 |

4 総合評価【全体】

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね本市求める水準どおりの効果が得られている。 ・区が求めるものと一致しており引き続き、区と共有・調整のうえ提案内容の支援を実施してもらいたい。 ・引き続き、他市町村・他区の好事例を参考に具体実践的な支援と、様々な検証を踏まえ、地域活動協議会の基盤強化に繋げてもらいたい。さらに、多様な団体との連携や、特にマンションコミュニティと地域活動協議会の連携を踏まえた支援方策の提案を積極的に区に対して行ってもらいたい。 |

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。